

プロジェクト07-2 更なる開業日の前倒し

(株)立山黒部貫光

(1) 第1回 ワーキンググループ以降の取り組み

(スケジュールイメージ)

H29.6

検討

H29.11

データ収集・検証



(2) 現状と課題

1 安全性の確保

① 立山室堂の4月は、積雪期から融雪期に移行する時期で、雪崩の発生がみられる。

② 雪、吹雪の悪天候

・本年4月15日は、吹雪により「雪の大谷ウォーク終日中止」、天狗平～室堂間を一時一方通行とした。

2 除雪能力

① 除雪能力(設備)の不足

② 除雪能力の習熟不足・除雪作業員の要員不足

【検討事項】

1 安全性の確保

① 気象についての科学的検証

・安全確保のための科学的データ収集が必要

・観測態勢(雪崩、吹雪 等)を整え、専門家の意見を聞く

※立山地区雪崩安全対策研究会(会長 川田富山大学名誉教授)が、立山室堂で、山岳スキーのための雪崩情報を発信している。

② 除雪作業員の安全確保

・藤橋～美女平間のシェッド建設(雪崩、落石対策)

2 除雪能力

① 除雪機械の新規購入

② 除雪作業員のスキルアップ

※ 気象情報(データ収集、検証、蓄積等)の調査については、できるだけ早く観測を実施する。

